

# 設立趣意書

## 1 趣旨

どんころ野外学校は、野外活動を通して自然の素晴らしさ、楽しさ、厳しさを多くの人達に伝えるために、そして、その野外活動を支える指導者を育てるために、1988年に北海道空知郡南富良野町落合で活動を開始した。

春から夏の自然を体験する野外活動には、空知川の源流部をたどるハイキングや川下り、どんころ山や狩勝山のトレッキング、原始ヶ原ツアーがある。

冬には、落合近隣の林の中のネイチャースキーやスノーシューハイク、犬ぞりツアー、冬の夜の森を体験する1泊2日ツアー、そして若者からお年寄りまでいっしょに楽しめるカーリングがある。

また、夏期には、小中高生を対象としたキャンプ教室を開催し、全国から子どもたちが訪れて自然を満喫している。

野外活動には、各活動についての高度な技術と自然環境についての豊かな知識を兼ね備えた指導者が必要である。どんころ野外学校では、アウトドアガイド講習、救命講習、スポーツ指導員講習などを行い、資格取得の支援を行い、野外活動にはこれらの資格を持ったスタッフがガイドを務める体制を整えている。

どんころ野外学校では、野外活動を通して人と人のつながりを国内外へと広げ、活動内容も自然共生型の地域活動へと活動の幅を広げようとしている。

落合地区には、空知川と周辺の自然、「王子の森」に残された森林など、後世に残していかなければならない豊かな自然がある。落合地区の地域振興はこの自然をどのように活かすかが鍵となっている。

自然共生型の地域活動とは何か。それは1つひとつ計画をたて実証していかなければならないことである。現在取り組んでいる「野外学校」がその答えであるかもしれない。

このように、人と人、人と自然、地域から世界へつながる活動を行っている「どんころ野外学校」の基盤を確かなものとし、さらに活動の幅を広げ、自然共生型の地域活動を進めるために、NPO法人の設立を目指すものである。

## 2 申請に至るまでの経過

- ・ 1988年 現在地、南富良野の山あい、野外活動の指導者養成のために設立
- ・ 設立以来、四季を通してのアウトドア体験やスクール、キャンプ、そしてカントリーライフを訪れる人達と取り組んできた。
- ・ 1996年頃から、活動の幅を広げ、地域共生型の活動を模索
- ・ 2003年4月 どんころ野外学校のスタッフ及び活動支援者と共にNPO法人設立に向けて発起人会議を開催
- ・ 2003年5月 発起人会議により活動目的と事業について検討

- ・ 2003年5月 発起人会議の検討内容について北海道庁生活振興課でレクチャーを受ける。
- ・ 2003年7月 発起人会議において活動目的と事業内容について確認

平成15年7月14日

特定非営利活動法人どんころ野外学校  
設立代表者 原 久太郎